

生駒のおいしい水

世界で水道水がそのまま飲める国は、わずか15カ国といわれている。その中で日本の水道水は、安全でなおかつ、おいしいといわれている。そして私は自分が住んでいるこの街生駒の水道水はどうだろう。と考えた。そこで生駒の水道水について調べてみることにした。調べてみると、生駒の水道水には、おいしい要素がたくさん詰まっている水であることがわかった。

なぜ生駒の水道水はおいしいのか。それは、生駒の深層地下水を汲みあげ、膜ろ過処理した浄水と万葉集にも詠われた吉野川の水や、薬品を使わず高度処理された宇陀川の水をブレンドしているからである。

厚生労働省「おいしい水研究会」は全国の水道水に含まれる成分や水質などから“おいしい水”の7つの要件を定めている。生駒の

生駒市立上中学校 二年

長沼 椀果

水道水は、そのうち6つの要件を満たしており、概ねおいしい水といえる。おいしい水の7つの要件とは、一蒸発残留物 二硬度 三遊離炭酸 四過マンガン酸カリウム 五臭気 六残留塩素 七水温 である。

生駒の水道水が要件を満たせてないのは、六の残留塩素で、殺菌効果はあるが、プールのようになにおいがしたりするため、少しくさいといわれている。そこで、生駒の水道水をそのまま飲んでも、塩素くささが消え、おいしい水道水にするための工夫として、五つある。

- 一、やかんのふたをあけたまま沸騰させる
- 二、一晚そのまま汲み置く
- 三、透明な容器に水道水を汲み、30分〜1時間太陽の光を当てて
- 四、レモン汁を数滴入れる
- 五、備長炭や竹炭などを入れる

その五の工夫を私も実際に試してみることに

した。感想としては、何もしない水道水よりはまるやかでおいしくなった気がした。私は今回、生駒の水道水を調べた事をきっかけに、こんなに自分の街の水がおいしいのだから、ミネラルウォーターなどを買うのはもったいないと思った。ミネラルウォーターなどを買えば、ペットボトルなどのゴミが出る。又、ミネラルウォーターのかわりに、マイボトルを持ち歩くことで、ペットボトルなどのゴミの削減ができ、CO₂の排出量削減にも取りくむことができる、と考えた。

今まで私は、外食に行った時に出てくる水やお茶をあたり前のように飲んでいた。しかし海外などでは、ありえない事だと知った。蛇口から出てくる水道水をあたり前のように飲んでいる私、それはとても恵まれていることだ、そう私は思う。それと同時に、水は限りのある資源である。そのため、水を大事にしていかなければならないと思った。また、私たちの住んでいる私たちが住んでいるこの街、生駒の環境を守り、このおいしい水道水を誇りに思い、このおいしさをいつまでも保っていききたいと思っと思っています。その事はと

ても大切な事だと思った。